

平成28年 水道水質関連事故事例

事業名等	都道府県	発生日	水道の種類	施設概要(水源)	事故概要	事故原因	今後の対応	備考
専用水道 (病院)	静岡県	平成28年4月7日	専用水道	塩素減菌 (深井戸)	4月7日に採水した飲用水の水質検査で硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素が水質基準を超過した。後日行った再検査では、水質基準に適合していた。7月及び8月にも再び基準値を超えたため、市水からの配管を整備し、10月6日より、専用水道の貯水槽への市水混合を開始。硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素は6.9mg/lで水質基準適合を確認。健康被害は発生していない。	水源付近にある畜産農家からの汚染源の地下浸透(推定)	平成29年3月まで毎月、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の検査を実施し、状況に応じて市水混合の比率を再検討する。	
小坂上簡易水道	静岡県	平成28年5月5日	簡易水道	塩素減菌 (深井戸)	減菌装置のホースが外れて塩素消毒ができなくなったことにより、残留塩素が低下した。ホースを再接続し、残留塩素の検出を確認したが、塩素消毒ができていなかった時点の水質検査で大腸菌が検出された。塩素消毒再開後の検査では大腸菌不検出。健康被害は発生していない。	塩素注入不良	施設の日常管理の徹底 検査結果異常時の速やかな再検査の実施	
都留市水道事業	山梨県	平成28年5月上旬	上水道	塩素減菌 (伏流水)	5月上旬、水道水から異臭がするという市民からの苦情を受け調査を開始。水道水質基準の51項目は基準を満たしていたが、揮発性有機化合物が検出されたため、7月上旬より上水道第一水源からの給水を他水源からの給水に切り替えて対応。原因物質がエチルtert-ブチルエーテル(0.011mg/l)と特定できたものの、発生源は調査中。健康被害は発生していない。	不明	定期的な水質検査による原因究明	
田代・千足地区専用水道	岩手県	平成28年6月20日	専用水道	膜ろ過 (表流水)	一般細菌の基準値超過(110/ml)が判明したため、6月24日に給水を停止し、応急給水にて対応。送配水施設の清掃消毒及び塩素注入量の増加等の措置を講じたが、7月1日にトリクロロ酢酸が基準値を超過(0.039mg/l)した。一般細菌については、7月6日に基準値内となった。取水設備の清掃、配水池からの排水、配水池容量及び塩素注入量の適正化等の対策を講じ、10月2日にトリクロロ酢酸が基準値以内となったことを確認し、給水を再開した。健康被害は発生していない。	塩素注入量不足、送配水施設の汚染 (推定) 消毒副生成物の生成	検討中	
長岡簡易水道	長野県	平成28年6月24日	簡易水道	塩素減菌 (湧水)	原水からジアルジアが検出された(1個/10L)ため、6月30日から給水は継続しつつ生水の飲用の禁止を周知した。7月10日に非常用膜ろ過施設を設置。7月11日にジアルジア不検出を確認したため、飲用制限を解除。健康被害は発生していない。	原水の汚染(推定)	深井戸への水源切替	
辰野町下横川簡易水道	長野県	平成28年6月27日	簡易水道	塩素減菌 (湧水)	原水からクリプトスポリジウムが検出された(1個/10L)ため、6月30日から給水は継続しつつ、飲用の際は煮沸するよう呼びかけ、併せて飲用水の応急給水を実施した。7月5日に非常用膜ろ過施設を設置し、浄水のクリプトスポリジウム不検出を確認したため、同日に飲用制限を解除。健康被害は発生していない。	原水の汚染(推定)	膜ろ過施設の常設化	
会津若松市水道事業	福島県	平成28年7月1日	上水道	緩速ろ過 (表流水)	平成20年度に実施した配水管布設工事の際に、本来行われるべき切り替えが行われていなかった。そのため、従前から使用していた旧専用水道(休止中)からの未消毒の湧水が2戸(3名)に供給され続けていたことが判明した。その湧水の水質検査を実施したところ、一般細菌が基準値を超過し、大腸菌が検出された。配水管の未切替えが判明した時点から応急給水を行うとともに、配水本管から仮設給水管を布設し対応。	配水管の未切替え	切り替え工事の実施	
湧別町川西簡易水道	北海道	平成28年7月5日	簡易水道	緩速ろ過 (表流水)	塩素剤が切れ、塩素消毒ができなくなったことにより、残留塩素が低下し、大腸菌が検出された。そのため、全世帯に個別に飲用制限を周知し、飲料水をポリタンクで配布した。塩素剤を補充し排水作業を行った後、末端給水栓で遊離残留塩素濃度が0.1mg/l以上あること及び水質検査で大腸菌の不検出が確認されたことから、7月8日に飲用制限を解除。健康被害は発生していない。	塩素剤切れによる塩素の無注入	塩素剤タンクの水位及び残留塩素濃度の確認の徹底	

中津川市山口簡易水道	岐阜県	平成28年8月1日	簡易水道	塩素滅菌 (伏流水)	水源地域周辺の豪雨により、浄水の濁度が水質基準値を超過した。広報無線放送により飲用を控えるよう住民に周知し、給水は継続した。原水の濁度が下降した後、水質検査を実施し、異常がないことを確認し、8月3日に飲用制限を解除。健康被害は発生していない。	水源地域周辺の豪雨	実戸浄水場(中津川市)よりテレメータにて濁度の常時監視を実施予定	
愛知県水道用水供給事業	愛知県	平成28年8月22日	用水供給	凝集沈殿、急速ろ過 (表流水)	原水の取水位置を切り替えたところ、原水から0.72mg/lのアンモニアが検出された。塩素強化を実施したが、結合残留塩素濃度は0.4mg/lを確保しているものの、遊離残留塩素濃度が0.1mg/lを下回った状態が約1時間続いた。受水市町へ連絡の上、送水を停止し、遊離残留塩素濃度が0.1mg/lを下回った水を洗管にて排水。健康被害は発生していない。	原水の中のアンモニア	原因物質の排出源を調査予定	
室野簡易水道	静岡県	平成28年8月22日	簡易水道	緩速ろ過 (表流水)	滅菌装置の薬注ポンプが詰まり、塩素消毒ができなくなったことにより、残留塩素が低下した。ポンプの詰まりを解消し、残留塩素の検出を確認したが、塩素消毒ができていなかった時点の水質検査で一般細菌の基準値超過及び大腸菌が検出されたため、煮沸を呼びかけた。9月1日の塩素消毒再開後の検査では一般細菌、大腸菌ともに水質基準に適合した。健康被害は発生していない。	塩素注入不良	施設の日常管理の徹底	
近江八幡市水道事業	滋賀県	平成28年8月26日	上水道	凝集沈殿、急速ろ過 (琵琶湖表流水)	今夏の高温に伴い、琵琶湖の水温が上昇し、オシロトリア等のプランクトンが増殖したことで、カビ臭物質の濃度が高くなった。高性能粉末活性炭注入による異臭味の除去、活性炭注入点の増加等の対策を行い、カビ臭物質の低減化を図ったが、9月30日頃まで水質基準を超える2-メチルイソボルネオール(2-MIB)が検出された。	琵琶湖におけるオシロトリア等のプランクトンの発生	引き続き、高性能粉末活性炭を注入して、原水と活性炭の接触時間を最大限引き延ばし、水質の状況を監視する。	
滋賀県企業庁	滋賀県	平成28年9月5日	用水供給	凝集沈殿、急速ろ過 (琵琶湖表流水)	今夏の高温に伴い、琵琶湖の水温が上昇し、オシロトリア等のプランクトンが増殖したことで、カビ臭物質の濃度が高くなった。高性能粉末活性炭注入による異臭味の除去、他浄水場からの浄水の融通による希釈等の対策を行い、カビ臭物質の低減化を図ったが、9月19日まで水質基準を超える2-メチルイソボルネオール(2-MIB)が検出された。	琵琶湖におけるオシロトリア等のプランクトンの発生	臭気原因物質量の監視 活性炭注入後の監視	
専用水道 (リゾートホテル)	北海道	平成28年9月5日	専用水道	塩素滅菌 (深井戸)	排水管の破損により、生活排水が地下受水槽に混入した。受水槽の使用を中止し、生活排水混入防止の応急対策後、受水槽の清掃を実施。水質検査を行い、水道水質基準を満足したため、9月14日に受水槽の使用を再開した。健康被害は発生していない。	受水槽への生活排水の混入	恒久的な対策として、地上受水槽の設置又は床面の防水工事を検討中	
専用水道 (ゴルフ場)	静岡県	平成28年9月21日	専用水道	塩素滅菌 (深井戸)	滅菌器が故障し、塩素消毒ができなくなったことにより、残留塩素が低下し、大腸菌が検出された。滅菌器を修理するまでの間は手動で塩素を注入し対応した。滅菌器の修理後に残留塩素濃度が0.1mg/l以上あること及び水質検査で大腸菌の不検出を確認。健康被害は発生していない。	滅菌器の故障	施設の日常管理の徹底	
駒ヶ根市水道事業	長野県	平成28年9月23日	上水道	凝集沈殿、膜ろ過 (表流水)	浄水場の上流にある宿泊施設から灯油が流出し、取水口に流入したことにより、水道水から異臭が発生した。取水を停止し、別系統からの配水に切り替えたが、配水管内に残留している恐れがあるため、飲用を控えるよう周知するとともに給水車等により応急給水を実施。導水管、浄水施設、配水管の洗浄を行った後、浄水の水質検査を行い、異常が認められなかったため、9月24日に配水を再開した。健康被害は発生していない。	浄水場取水口への灯油の流入	検討中	
大州市上須戒簡易水道	愛媛県	平成28年10月4日	簡易水道	緩速ろ過 (表流水)	10月4日に採水した原水からジアルジアが検出された(1個/10L)ことが10月7日に判明したため、10月7日から給水は継続しつつ、飲用する場合は煮沸するよう周知した。なお、4日に採水していた浄水からはジアルジアが検出されなかった。10月11日と17日に再検査を行い、ジアルジアが検出されなかったため、10月21日に飲用制限を解除した。健康被害は発生していない。	不明	当面は濁度を常時監視しつつ、平成29年度に高感度濁度家を設置予定	

吉川市水道事業	埼玉県	平成28年10月25日	上水道	塩素滅菌 (深井戸)	給水栓から採水した水道水の残留塩素が低下した(0.1mg/l未満)。現場付近の排泥管にて配水管の洗浄作業を実施し、10月27日に残留塩素が0.1mg/l以上になったことを確認した。健康被害は発生していない。	配水管内での塩素の消費(推定)	排泥管による排水作業を継続し、残留塩素濃度を監視する。	
北見市留辺蘂地区 水道事業	北海道	平成28年11月15日	上水道	(表流水)	残留塩素が0.1mg/lを下回ったため、摂取制限を実施し、洗管作業を行った。末端給水栓での残留塩素濃度を確認した上で11月16日に摂取制限を解除した。健康被害は発生していない。	取水場所付近の畑の雪上に散布した肥料が融雪により河川に流出したことに伴う原水のアンモニア濃度の上昇(推定)	再発防止に向けた対応を関係機関で検討する。	